

## 第22回むさしのあったかまつり実施報告書

2024年11月7日

事務局：社会福祉法人武蔵野 デイセンターふれあい内

〒180-0001 武蔵野市吉祥寺北町 4-11-16 Tel.0422-54-5134

10月19日(土)に第22回むさしのあったかまつりが開催されました。昨年に引き続き、場所はエコreゾート。今年度はステージ発表の企画を再開し、当事者の方々による歌や演奏、ダンス、そして成蹊大学の学生さんによるダブルタッチや楽器演奏で盛り上がり、活気あるステージとなりました。模擬選挙も久々に企画しましたが、衆院選と時期が重なり、残念ながら実施できませんでしたが、「ピアお悩み相談室」に変更し、ゆったりとしたあたたかい時間が流れていました。

当日のお天気も心配されましたが、おまつりの時間帯は暑いくらいで、蚊が大量発生するという緊急事態に！でもエコreゾートや野外活動センターにご協力いただき、蚊よけ対策を講じながら開催しました。「若干子どもの来場が少ないのでは」という声もありましたが、約1,200人の方々に来場して下さり、ケガや体調不良になる方もおらず、無事、盛況のうちに終了することができました。

多くのボランティアさんをはじめ、当日のお手伝いの方々のご協力もあり、無事開催できたこと、心より感謝申し上げます。また、ご参加・ご協力いただきました団体・個人みなさまにもこの報告書をもってお礼のごあいさつに代えさせていただきます。本当にありがとうございました。

4月から月1回の実行委員会で検討を重ねながら、皆さんと身の丈にあった手づくりの“あったかい”おまつりとなり、来年度の実行委員会にぜひ参加したいという新しいの方々のお声もいただきました。

『誰もがいきいきと安心して住み続けられる支え合いのまち』作りにつながるようなまつりを、これからもみなさんとともに作っていききたいと思います。

今後ともみなさまのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

第22回むさしのあったかまつり実行委員一同

実施日時：2024年10月19日(土) 10:00~14:00

イベント会場：むさしのエコreゾート 来場者：約1,200人

主催：第22回むさしのあったかまつり実行委員会 (社福)武蔵野

共催：武蔵野市

後援：(社福)武蔵野市民社会福祉協議会

実行委員会：大野田福祉の会/ボランティアセンター武蔵野/NPO法人ミュー/NPO法人ペピータ

参加団体 むらさき育成会/(公財)武蔵野生涯学習事業団野外活動センター、スポーツ振興課

特別支援教育を考える会/成蹊大学ボランティア本部 Uni./

武蔵野市障害者福祉協会/山彦の会/Open the egg/武蔵野市視覚障害者福祉協会

武蔵野市聴覚障害者協会/武蔵野市肢体不自由児者父母の会

(株)パソナハートフルアート村工房/(社福)武蔵野千川福祉会/NTTクラリティ(株)

(社福)おおぞら会サポートネットあすは、あすはkids/武蔵野市地域自立支援協議会

武蔵野市障害者福祉課/むさしのエコreゾート/(社福)武蔵野 (順不同 敬称略)

※飲食の出店や企画で参加して下さった武蔵野中央会青年部、五日市通り親交会青年部、中央通り西祥会、武蔵野赤十字奉仕団、けやきコミュニティ協議会、ボランティアつくしんぼの会、六実会のみなさま、ポスター作品募集にご応募して下さったみなさま、広報等でご協力いただいたみなさま、ご協力ありがとうございました。

## あったかステージ

皆さんが日々積み上げている成果を発表できる場として、エコreゾート内に数年ぶりのステージを復活させることができました。騒音が気になる方々も、おまつり当日を楽しめるように、午前中に発表が終わるようプログラムを作成しました。

今年は、出演歴がある3団体と成蹊大学のサークル2団体が加わり、合計5団体が歌、ダンス、楽器演奏やダブルダッチを披露してくれました。各団体が発表している時間、常にステージの周りに観客がいました。当日は天候に左右されることもなく、会場はとても盛り上がり上がっていました。団体毎の持ち時間は決して長いものではありませんでしたが、5つの参加団体と観客の皆さんがとても楽しそうな表情をしていたことが印象的な時間でした。



## 当事者部会ピアお悩み相談室

部会メンバーで準備を進めていた「模擬選挙」は衆議院選挙と重なり、中止せざるを得なくなってしまい残念でした。しかし気を取り直して、選挙管理委員会から実際の選挙で使用する記載台や投票箱、コミュニケーションボードをお借りして展示することが出来ました。当日は「これから期日前投票に行く」という初めての選挙にちょっと緊張した方もお越しになり、部会のメンバーから説明を受けて実際に投票用紙を投票箱に入れる練習をすることが出来ました。「一枚紙を入れるといいんだね」と表情が和らいだことが印象的でした。選挙に関する展示だけではなく、「当事者部会ピアお悩み相談室」も行いました。「こんなことがあるといいな」と思うことをポストイットに貼っていただくコーナーも設けました。静かな環境でゆっくりとした時間が流れ、少し休憩しながらお話しする方の姿も多くありました。来年こそは「模擬選挙」ができるとういことです。



## あったかマルシェ物販・あったかマルシェ飲食

あったかまつり開始の合図で、「いらっしゃいませ〜」、「おいしい食べ物ありますよ〜」など、各店舗から明るい声が聞かれました。開始時は、お客さんの流れがゆっくりでしたが、エコreゾート館内で行われていたステージ発表が終わると、発表を見終わったお客さんがマルシェに来店し、とても賑わっていました。

12時頃に徐々に来客が増え、飲食コーナーでは行列ができていました。飲食スペースには常に満席の状態、売れ行きは好調な様子でした。また、食べ終わったゴミは、お客さんや学生ボランティアさんの協力でしっかりゴミの分別を行うことができました。

開始から終了まで各店舗では商品を販売する中で、お客さんとの交流の輪が広がり、たくさんの笑顔が見られ、あたたかく賑わいのあるおまつりとなりました。



## 作品展示

昨年度までのレイアウトを概ね踏襲しつつステージスペースとの共存または接続を意識して準備を進めました。チーム内の慣れている方々の力のおかげで円滑な流れで当日に備えることができました。個性が活きダイナミックで力強い作品が多く、当日多くの来場者が足を止めて作品を鑑賞していました。作者またはその家族が自身の作品の展示を楽しみに来場するケースも多数見受け、会場へ出向く事由のひとつになっていること、当事者の創作活動の意欲増進に貢献できているのではないかと嬉しく思いました。



## ゲーム・アトラクション

ゲーム・アトラクションでは、玉入れ・ゴキブリたたき、ポッチャ、わなげ、コイン落とし、紙工作、びゅんびゅんゴマとだるまの製作コーナー、似顔絵製作を出し物として用意しました。今年は出展者として成蹊大学のボランティアサークル Uni.の皆さんの若い力が加わり、さらなる賑わいを会場にもたらしました。各ブースとも事前準備からご来場の皆さんに楽しんでもらえるよう工夫し、おまつり当日は皆で盛り上げ、終始楽しい雰囲気が続きました。来年も引き続き、みんなが参加できて楽しめる場を提供していきたいと思えます。



## 広報

今回のポスター（2種類）、チラシ（白黒）、当日パンフレットは沢山の応募作品の中から選ばれた作品をデザインして作成しました。絵だけではなく、「あったかまつり」の文字も作品です。当日は展示コーナーに「ポスター原画展」を設けておまつり参加者の皆様にも見て頂けるようにしました。当日は飾られている作品と一緒に写真を撮る方もいらっしゃり、ご自分の作品が多くの方に見ていただいたことが伝わったのではないのでしょうか。ポスター、チラシ、当日パンフレットは実行委員の皆様が応募作品の中から選び、内容についてもたくさんのご意見を頂きながら作り上げたものです。実行委員の皆さんのあったかまつりに対しての熱い気持ちも込められたものとなりました。



本当にありがとうございました！